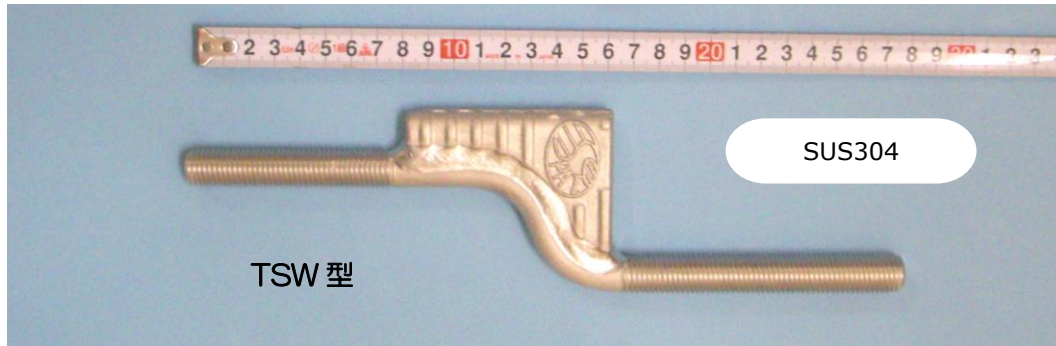




TSW16×D40 イナズマアンカー施工方法

(鉄筋に干渉されない接着系偏心あと施工アンカー工法)

- ① イナズマアンカーボルトと接着剤を用意。
(接着剤はイナズマアンカーボルトに付属しております)



＜必要特殊工具＞

- ・φ21 (φ22) 穿孔キリ 200ℓ以上
- ・φ100 ハンドグラインダー
- ・φ100 ダイヤモンドカッター刃
- ・接着剤 (付属品)
- ・接着剤用注入ガン
(注入ガンは必要により御注文ください)

- ② 墨出し位置に穿孔し、鉄筋と遭遇。(第 1 アンカーボルト孔が鉄筋と遭遇)



M16 のケミカルアンカーボルト用に、φ19 (φ20) のドリルで穿孔します。

＜マーキング及びアンカーボルト孔穿孔＞



＜穿孔位置に鉄筋干渉＞

鉄筋と遭遇したら穿孔を中断し、清掃を行い、鉄筋の配置の方向を確認してください。

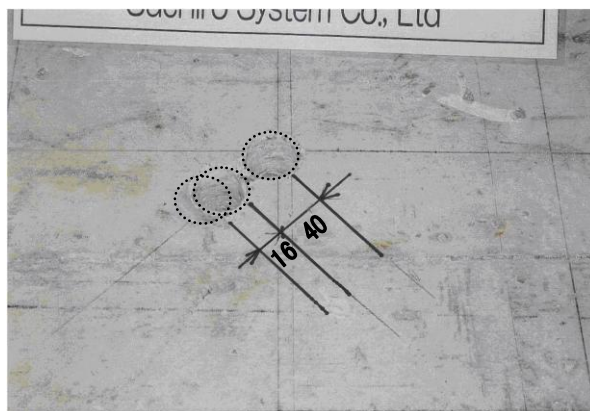
- ③ 第 1 アンカーボルト孔より、偏心距離※（40mm）斜め方向に第 2 アンカーボルト孔位置をマーキングし、穿孔。 → 正規寸法長さの穿孔ができる。



＜第 2 アンカーボルト孔の穿孔＞

第 1 アンカーボルト孔心より、鉄筋の存在しない方向に 40mm 偏心させた位置にφ21（φ22）キリの孔を深さ 175mm まで穿孔してください。
（斜め方向が鉄筋の存在する確率が低い）

- ④ さらに 16mm 斜め方向に深さ 88mm の穿孔を行う。



＜さらに 16mm 偏心して第3の穿孔を行う＞

この時、ドリル先は斜めに向けて穿孔してください。

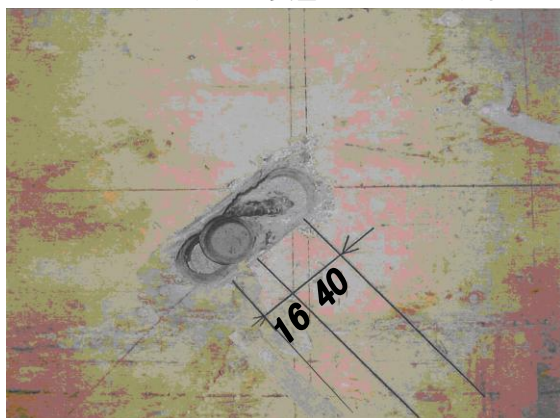
- ⑤ 3つのアンカーボルト孔を連結する。

ダイヤモンドカッターでコンクリート表面を切り込み、ドリル刃を左右に回転しながら動かして研る。

イナズマアンカーボルト連結部がすっぽり入り、連結部がコンクリート表面より 5～7 mm ほど窪ませる連結孔をあける。（接着剤を注入する前に、イナズマアンカーボルトをセットして、すっぽり収まることを確認してください。）



＜コンクリート表面をカッター切り＞



＜アンカーボルト孔連結＞

cf.
添付穿孔要領をご参照ください。

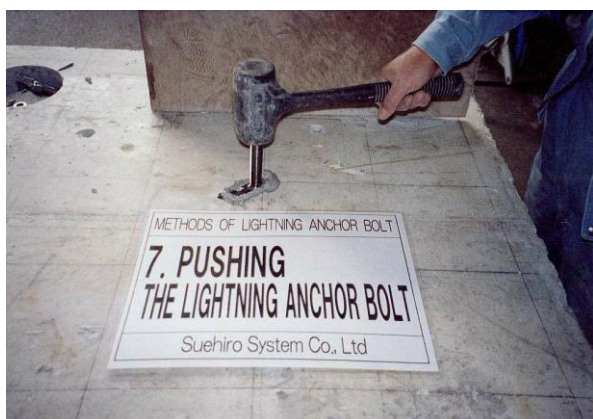
- ⑥ 穿孔部をブラッシングする。
- ⑦ ブロワーにより清掃する。
- ⑧ 穿孔部を再度ブラッシングする。
- ⑨ ブロワーにより再度清掃する。
- ⑩ 接着剤を注入する。
(当社指定品を必ず使用してください)

穿孔部の清掃がアンカーボルト付着力の決め手です。
ブラッシング・清掃を2回ずつ繰り返してください。
水分は乾燥させてください。



＜接着剤注入＞

- ⑪ イナズマアンカーボルトをクッションハンマー等で打込む。(あるいはボルト頭を養生して手で押し込む。)



<イナズマアンカーボルト取付>

イナズマアンカーボルトの連結部表面が、コンクリート表面から 5~7mm 窪むように設置してください。

- ⑫ イナズマアンカーボルトセット完了



<イナズマアンカーボルト取付完了>

接着剤はコンクリート表面（壁面）と平滑に仕上げ、余った分はヘラ等で取り除いてください。また、仕上げ時にコンクリート粉を表面に撒くと美しく仕上がります。その後、24 時間養生して完成です。

- ⑬ 引張試験



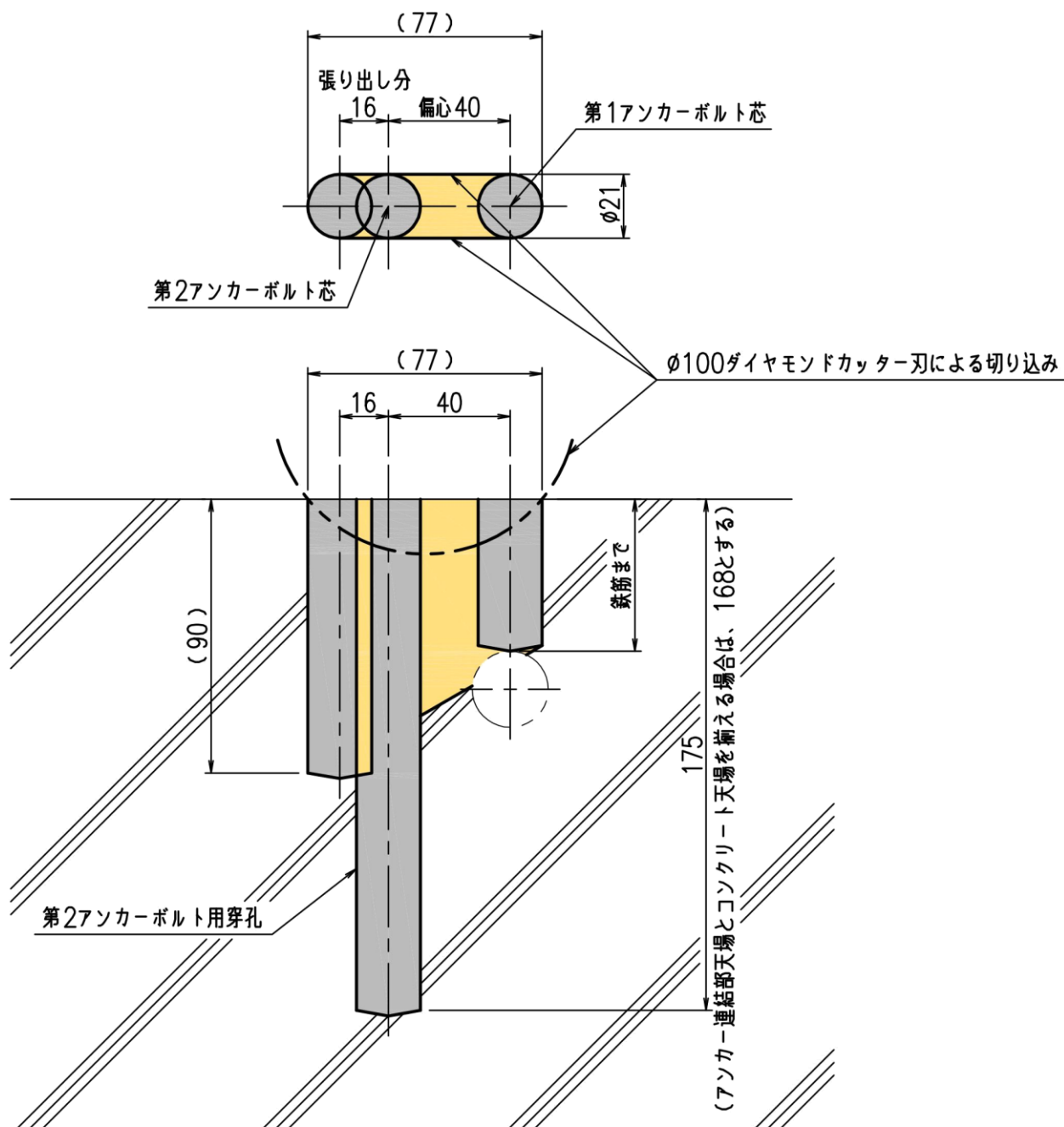
<引張試験>

24 時間養生後、アンカーボルトの引張試験を実施してください。

この時、連結部の上面に空間を設けて、試験を行ってください。

引張力は、日本デコラックス(株)標準タイプケミカルアンカーR-16 の長期許容引張強度を参考とし、19.2kN としてください。

TSW16×D40の穿孔要領



- 穿孔部分
- 連結部分 (ドリルを回転しながら横移動させ削る)

cf. 穿孔はφ22径でも可

但し、接着剤量が多少増加します。

() 寸法は状況判断必要。